



株式会社マキノグリーン
<http://www.makino-green.com>



調査企画課 高田裕二 takada@makino-green.com

1. 緑化工技術の推進

弊社は昭和47年の創業以来、法面処理の工事を専門とし、事業を通して少しでも地域社会に貢献できる企業を目指して①循環型社会への取り組み（地域生育基盤素材のリサイクル推進）②自然環境の保全推進（流域圏の植物増殖による復元緑化の推進）③地生態学的緑化手法（地生態に配慮した生育基盤造成）を基本とした緑化手法を提案し、実現してきました。

2. 植物誘導吹付工<植物系廃材リサイクルによる生育基盤造成手法>

当社が開発した植物誘導吹付工は、資源循環型社会の構築、地球温暖化防止のための緑化対策の推進、防災に寄与する緑化対策、生物多様性保全への配慮を基本理念とした緑化工法で植生基材吹付工の一種です。

工法の特徴としては

①伐採・伐根によって発生する植物発生材を現場内に設けた集積場所で破砕し、生チップの状態です生育基盤の材料として活用することができるため、廃棄物処理・輸送費・堆肥化費用等のコスト削減が可能です。

②伐採木の破砕材の繊維の絡み合い（ネット耐侵食性）により、無播種で長期間の裸地状態でも降雨や表流水による侵食はほとんど見られず、また、基盤の収縮による剥離や乾燥害は見られないなど生育基盤の耐久性に優れています。

③土壌養分吸収、保水性に優れた微生物活性酵素「はえるちゃん」を配合することで、腐敗土壌菌の発生抑制と有効微生物の活性化を促進することができます。

④造成基盤の表面は伐採木破砕材の繊維の絡み合いにより基盤内部構造に一定の空隙が確保されるため透水性も良好です。

3. 最後に

法面緑化工は大別して①生活環境を整備することを目的とした緑化基礎工、②植物を自然に導入していくことを目的とした植生工、③目標群落に早期に確実に近づけ、維持し、保護していくことを目的とした植生管理工に分類されていますが、法面業界を取り巻く環境も年々変化しており、それに伴い当社も磨き上げてきた職人魂を発揮し、地についた技術と環境共生社会に立ち向かい、新たな緑化手法を提供していこうと考えています。

会社概要と連絡先

所在地	山口県柳井市南町7丁目2番6号
連絡先	0820-23-4082（代表）
創業年	昭和47年1月
代表者	代表取締役社長 深浦 邦彦
資本金	2,100万円
事業内容	環境保全型緑化 のり面緑化／のり面保護 地すべり対策 他



施工前（道路改良切土完了時）



植物誘導吹付工施工2年